



ICF 思考による情報整理・分析シート

利用者氏名

神谷花子

利用者・家族の意向

利用者・家族の望む暮らし

利用者の現在の状況

健康状態【病名・症状、服薬内容、既往歴、主治医、受診行動（頻度、方法）その他】

利用者の現在の生活機能

【心身機能・身体構造の状況】睡眠の内容（不眠、中途覚醒、服薬の有無）、栄養（増加、減少、嗜好、水分摂取状況）、視覚・聴覚・痛みと日常生活の支障の程度、口腔機能と衛生、排尿・排便障害、筋力、全身持久力、精神面（抑うつ、認知機能）、その他

【活動の状況】コミュニケーション、立ち座り・浴槽のまたぎなどの起居動作、移動（屋内・屋外歩行）、運搬動作、洗髪・洗身、爪切り・耳掃除、下着・衣類の着脱、買い物、金銭管理、簡単な調理、掃除、整理整頓、洗濯、服薬管理、その他

【参加の状況】外出先の有無、趣味活動、友人・親戚の交流、地域の居場所、日中の活動の有無、その他

健康状態は生活機能にどのような影響を与えているか？

背景因子（環境因子、個人因子）は生活機能にどのような影響を与えているか

【環境因子】  
家族構成及び家族の健康状態、家族・親戚とのつながり、経済状況、住環境（立地状況）、交通機関へのアクセス、よく利用していた社会資源、福祉用具・自助具、医療・保健・福祉サービス、友人の家までの距離、その他

【個人因子】  
年齢、成育歴、趣味・嗜好、性格、価値観、職歴、その他

介護支援専門員等による情報整理・分析

現状が続くことで予測されるリスクは何か？（防ぐべきこと）

[環境]

[個人]

状況を改善するための促進因子は何か？

[環境]

[個人]

解決すべき課題の明確化と目標の設定

生活全般の解決すべき課題（ニーズ）

（長期目標）

（短期目標）

課題整理総括表

利用者名 神谷花子 様

作成日 平成30年4月 日現在

自立した日常生活の 阻害要因 (心身の状態、環境等)				
状況の事実 ※1		現在 ※2	要因※3	改善/維持の可能性※4
移動	室内移動	自立 見守り <del>一部介助</del> 全介助		改善 維持 悪化
	屋外移動	自立 見守り <del>一部介助</del> 全介助		改善 維持 悪化
食事	食事内容	<del>支障なし</del> 支障あり		改善 維持 悪化
	食事摂取	<u>自立</u> 見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化
	調理	自立 見守り 一部介助 <del>全介助</del>		改善 維持 悪化
排泄	排尿・排便	<del>支障なし</del> 支障あり		改善 維持 悪化
	排泄動作	<u>自立</u> 見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化
口腔	口腔衛生	<del>支障なし</del> 支障あり		改善 維持 悪化
	口腔ケア	<u>自立</u> 見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化
服薬		自立 見守り <del>一部介助</del> 全介助		改善 維持 悪化
入浴		自立 見守り <del>一部介助</del> 全介助		改善 維持 悪化
更衣		自立 見守り <del>一部介助</del> 全介助		改善 維持 悪化
掃除		自立 見守り 一部介助 <del>全介助</del>		改善 維持 悪化
洗濯		自立 見守り 一部介助 <del>全介助</del>		改善 維持 悪化
整理・物品の管理		<u>自立</u> 見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化
金銭管理		自立 見守り 一部介助 <del>全介助</del>		改善 維持 悪化
買物		自立 見守り 一部介助 <del>全介助</del>		改善 維持 悪化
コミュニケーション能力		<del>支障なし</del> 支障あり		改善 維持 悪化
認知		支障なし <del>支障あり</del>		改善 維持 悪化
社会との関わり		支障なし <del>支障あり</del>		改善 維持 悪化
褥瘡・皮膚の問題		<del>支障なし</del> 支障あり		改善 維持 悪化
行動・心理症状 (BPSD)		<del>支障なし</del> 支障あり		改善 維持 悪化
介護力 (家族関係含む)		<del>支障なし</del> 支障あり		改善 維持 悪化
居住環境		支障なし <del>支障あり</del>		改善 維持 悪化
				改善 維持 悪化

- ※1 本書式は総括表でありアセスメントツールではないため、必ず別に詳細な情報収集・分析を行うこと。なお「状況の事実」の各項目は課題分析標準項目に準拠しているが、必要に応じて追加して差し支えない。
- ※2 介護支援専門員が収集した客観的事実を記載する。選択肢に○印を記入。
- ※3 現在の状況が「自立」あるいは「支障なし」以外である場合に、そのような状況をもたらしている要因を、様式上部の「要因」欄から選択し、該当する番号(丸数字)を記入する(複数の番号を記入可)。
- ※4 今回の認定有効期間における状況の改善/維持/悪化の可能性について、介護支援専門員の判断として選択肢に○印を記入する。

	利用者及び家族の生活に対する意向		
備考(状況・支援内容等)	見通し ※5	生活全般の解決すべき課題(ニーズ)【案】	※6

- ※5 「要因」および「改善/維持の可能性」を踏まえ、要因を解決するための援助内容と、それが提供されることによつて見込まれる事後の状況(目標)を記載する。
- ※6 本計画期間における優先順位を数字で記入。ただし、解決が必要だが本計画期間に取り上げることが困難な課題には「-」印を記入。